



中学生の部 説明書

～This place is your treasure.～

『過去の自分を超える夏』

中3は講座最後の模試で！

中1・2は2学期実力テストで！

中学3年生の保護者様と生徒諸君に

中学③年生の目標

五校進学希望者 偏差値60以上

東西南北・北陽台・西陵などの進学公立及び

日大アカ1・2や海星ステラなど私立上位クラス進学第一志望の中3

目標 8月29日実施長崎県一斉模試で、偏差値60以上、県内順位400位以内を目指す。

長工・商など実業高校進学希望者 偏差値45以上

長工・長商・諫商・諫農・大工・明誠・南山・海星・純心・日大など、公立・私立第一志望の中3

目標 8月29日実施長崎県一斉模試で、偏差値45以上、県内順位1400位以内を目指す。

目標を達成するために

- 全26日間 150時間以上の学習時間
- プロ講師陣による、演習と解説授業
- 鬼6と呼ばれる、徹底的に鍛える基礎事項習得
- 国語はすべての基本、宿題の長文解説授業
- 卒生と戦え模試と、最終日対外模試の偏差値比較で伸びを確認
- 通知表にも影響する学校の実力テストで高得点を目指す。

全26日間、150時間以上。英・数・理・社はクラス授業。国語は毎日必ず大門一題を解きます。まずは活字に慣れ、時間を図って解くことで、答えを本文から探して解くことを覚えます。多くの文章を読むと、語彙力や接続詞の使い方も身につく。授業終了後、鬼6と呼ばれる基礎事項徹底演習が始まり、その集大成で一日暗記大会が実施されます。7月11日実施の卒生とたたかえ模試と講座最終日の模試の偏差値比較で夏の伸びを確認。

国語 読解の夏

○夏期講座だからできる

長文読解解説

○毎回の宿題で

多くの作品に触れ、

解説を聞く準備をする。



「どうやって正解を導くかわからない。」「何を聞かれているのかわからない。」「どんなふうに答えていいかわからない。」そして最後には「わけがわからない。」子供たちのわけがわからないは周りの人を黙らせる無敵の武器です。わけがわからないから→自分で勉強できない→だから国語はやらない。このループを何年にもわたり、何十回もいや、何百回も聞いてきました。時間があれば、とにかく多くの文章を読むことで国語は語彙力も読解力もつきます。それを何とか促したく学進会では毎時間国語の宿題プリントが出るのですが・・・。中3のこの時期になってもこのループを繰り返す生徒のなんと多いことか。それだけ今の中学生の活字離れが進んでいるということです。しかし、もう夏です。そんなループを断ち切る必要があります。そこで、夏期講座は問題の解説や解説プリントの配布など、どうやって正解を導くか。本文の中からどうやって正解を探し出すか。答え方の基本などを解説していきます。夏が終わったら、「どうやったら正解を導けるかわかるようになった。」そう言ってもらえるように全力で解説します。

英語 文法総復習の夏

○中1・2年の文法総復習（これがラストチャンス）

○長文読解にもどんどんチャレンジ

夏期テキストを使用して解説と演習。まずは文法事項をしっかりと覚えなおして、英語の基礎学力を身に着け、長文問題や、英作文など実際の入試形式・模擬試験形式の問題を解き、点数アップを目指す。

夏期テキストを使用しての指導です。英語が得意な生徒は長文をガンガン読んで実力テストで過去最高をめざし、英語が苦手な生徒はとにかくまず文法を1年生の最初から叩き込みなおしです。特に1年生からの文法の復習は、この夏が最後のチャンスです。しっかりと身に付けば必ず点数は上がります。

中学文法の総復習を20年以上手掛ける、東長崎校の田中先生がオンライン生配信授業で、長与駅前校も担当します。お互いの校舎の先生たちが専門分野を担当することでよりよい授業の提供が可能になります。

理科 苦手分野克服の夏

○問題が解けることに特化した、合格するための理科。

○苦手分野の克服最大のチャンス

夏期テキストを使用して解説と演習。グラフや図の読み取り、実験、記述など実際の入試形式・模擬試験の問題を解き、今まで定期テスト対策や通常授業でおこなっていた理解を深めながら点数をあげるのではなく、点数を上げることを第1にする指導に切り替わっていきます。解法を覚える。反応や公式を覚えて使用する。そのような指導になっていきます。私立高校入試まで、あと半年。しかも私立高校の入試は3教科が主流となり、塾では受験指導を12月から開始するために9月からは英語・数学の授業をどんどん進める。理科や社会にかける時間はあまりないのです。なので、理解を深め科学的考察、自然への興味など本来の理科の授業の目的はひとまず置いて入試で点数を取るための勉強になります。合格するための理科の始まりです。



さらに理科では得意・苦手な分野がはっきりと分かります。1年生から学習したすべての分野を復習するこの夏期講座で苦手分野を何とか勉強できるレベルに引き上げ、学校のワークを引っ張り出しその部分を学習すると飛躍的に点数は上がります。

社会 重要用語を覚えて使う夏

○鬼6で暗記した重要用語を問題で使用することで定着する

○丁寧な解説で用語(点)が、知識(線)としてつながる。

バラバラに暗記してしまった用語も、テキストの問題文や選択肢に出てきたときに丁寧に解説します。そこで初めて、知識としてつながり、まとまりを持ちます。初めて歴史の流れや、地理の地域ごとの特徴などが理解でき、「社会って訳が分からない。」から、「あっ、分かる。」に変化します。さらに、鬼6で覚えた言葉や語句を使用して、記述問題などを書くことでさらに理解は深まります。そうすることで、覚えた用語も記憶しておく期間が長くなります。

そうすると、その期間に塾の授業や模擬試験、宿題、学校の定期テストや実力テストで必ず出てきます。そこでさらに記憶が延長されます。良いことに、夏期講座で覚えたことを知識としてまとまりを持たせていますので、出てきた言葉の周りの用語も記憶が延長されます。例えば、太閤検地という言葉が出てきたら、自動的に豊臣秀吉、大阪城などの言葉も一緒に記憶にとどまるということです。

数学 入試必須問題を解けるようになる夏

○解けない問題をあぶりだし、そこを克服する

○初めて見る入試問題にも慣れていく

毎年高校入試と向き合う塾講師は、高校入試で必ず出題される問題をよく知っています。当然模試にも学校の実力テストにも頻繁に出題されます。それを習得しないなんて考えられないと思いませんか？なので、夏は必ず出る問題を徹底的に学習します。夏期テキストを中心に、学校の実力テストの過去問、模試の過去問、長崎県の公立私立の過去問すべてのデータから問題を選びます。

学力差が大きい数学では、東長崎校・長与駅前校をウェブで繋ぐことにより、習熟度別の2クラスでの授業が可能になります。西・東・北陽台・長工・長商などの公立上位校に進学を希望する数学が得意な生徒には、必須問題だけでなく、入試問題に即した応用問題にも取り組んでもらいます。学年をまたいだ複合的な大問の練習を開始し、高校入試に備えていきます。

オンライン 生配信授業

の導入！



○講師の絶対数が増えるので多様な進路に対応できる

○質問は自分の校舎の先生にできるから安心

学進会の中3の夏期講座はオンライン生配信授業を取り入れています。先生たちが専門の担当教科を分担することで、授業の精度が上がります。さらに、校舎の先生は生徒の質問や宿題のチェックなどの時間がとれます。結果として、夏期講座のレベルが上昇します。最近の子供たちは動画世代なので、テレビ画面での解説は集中して見る習慣もついていて、内容理解の効果も高いです。

また、進路に合わせて多様なクラス編成も可能になります。他校舎の先生の授業を聞く機会は、夏期講座と冬期講座しかありませんので、良い経験にもなります。

5時間授業が終了後から始まる、**基礎事項完全習得**のために。

全ての卒業生が乗り越えた、第1志望合格への絶対不可欠の学習。

学進名物

鬼6



目的

受験に必要な基礎事項の暗記と、計算力の飛躍的アップをはかり、秋以降の成績向上につなげ、1月から始まる高校入試での第1志望合格を目指す。

効果 良い経験の蓄積で学ぶ

- 予習することの良い経験ができる（事前準備の大切さを学ぶ）
- 努力すれば必ず終了する（全力を出し切る大切さを学ぶ）
- 夏期講座中26日間やり遂げる。（継続する大切さを学ぶ）

中学3年生の保護者様と生徒諸君に

中3生のみならず、ここだけは読んで欲しい！！

『国語特訓』の後に続く、理・社の一問一答、英単語テスト、計算テスト、長文読解提出。時間が来たら帰る？NO!! すべて終わったら帰れるんだ。この夏にこれを乗り越えることで自信が付き、9月以降見違えるように受験勉強がはかどるようになる。前日に予習をする習慣を身に付ければ時間内に終了でき、予習が素敵なんだとプラス経験が身に付き、たとえ予習せずとも頑張っても終了させることでやり遂げる良い経験ができ、最後まで続けることで継続の良い経験ができます。積み重なった良い経験が勉強するといふことがあるし、自分にだってできるんだという自信と素晴らしい経験につながる。良い経験こそが子供たちに必要な、生きていく力となる。そして、第1志望に合格できれば、目標を達成できるという経験ができる。ただし良い経験にもレベルがある。そのレベルは努力の量と比例する。だからこそ学進会では、終わるまで返さないではなく強制的に努力の量を増やすように仕組んでいく。

① 英単語 800語 暗記

40問×20回 入試必須の英単語を800語暗記

40問、毎回全問正解するまで帰れません！！

② 計算 400問 徹底マスター

20問×20回 入試必須の計算基礎問題を400問。

20問すべて全問正解するまで帰れません！！

③ 理科一問一答 600問 完全暗記

30問×20回 入試必須の重要用語を600問。

30問すべて暗記するまで帰れません！！

④ 社会一問一答 600問 完全暗記

30問×20回 入試必須の重要語句を600問。

30問すべて暗記するまで帰れません！！

鬼の6時間目総仕上げ、一日暗記チャレンジ

- 夏に覚えたことを思い出してテストで高得点
- 定着したことを使ってさらに記憶期間延長
- この1日で、覚えたことを受験まで忘れなくなる！！

覚えたことは忘れてしまってもったいない。一日かけて思い出し、定着しよう！

次の週から始まる、学校の実力テスト、夏期講座最終日の模擬試験で覚えたことが出てくるから、『あっ、これ知っている。問題の意味よく分かる。問題解いたことある。』そのような、勉強が得意なる感覚を味わえます。大変ですが、めっちゃくちゃ効果がある（コスパが非常に高い）一日になります。テストで出題されて解答し、正解した問題は受験の日まで忘れません。もちろん、2学期に勉強しているときに夏に覚えたことを使って問題が解けるとこれも受験まで忘れません。やり直さなくてよくなります。コスパ良くないですか？

長与駅前校の生徒は東長崎校への移動がありますが、そうするだけの価値は大いにあります。さらに、1日は長いですから、楽しみながら勉強して欲しい。そこで、楽しいイベントをしながら勉強していきます。

一日暗記チャレンジイベント

- 努力したらG（ガバス）という塾内通貨がもらえる。
- その通貨で、お菓子、飲み物、アイス、さらには昼食・夕食も購入する。

科目に応じて指定された条件をクリアすると報酬（今後G）がもらえます。そのGでいろいろな景品とその日のおやつや昼食・夕食も購入します。お菓子やジュース、アイス、カップラーメンなど。普通に頑張れば500Gくらいはもらえる設定です。勉強が得意な生徒も苦手な生徒も大きな差はなく努力に応じてGがもらえるので、今の学力は何も心配なく参加しましょう。もちろん勉強に自信がある人には個人での満点報酬もあります。

- 昼食は東長崎地区の豊富な飲食店の利用可能（800Gプレゼント）

プレゼントした800Gは景品と交換しても良いですし、現金化して（昼食のみです）東長崎エリアの飲食店を利用できます。マック・ジョイフル・ガスト・ココ壱番屋・マルヨシラーメン・庄屋・ほか弁などが徒歩圏内にあります。

- 夕食用に社長自ら焼きそば作ります！

夕食時には、参加してくれた子供たちに心を込めて、ゴマ蔵(社長)が焼きそばを作って100G(激安)で販売します。夕食は校舎で食べます。そのほかにお米も炊きます。あとはレトルトカレーや牛丼も用意します。楽しみにしてください！

中学3年生の保護者様と生徒諸君に

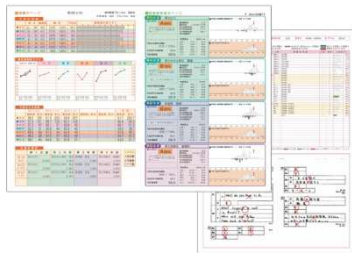
夏期講座の仕上げは “ 3つのわかる ”

対外模試 8月29日(土)

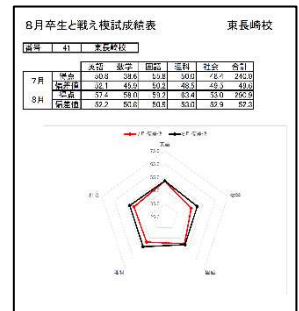
- “ 夏の成果が分かる ” 7月11日実施戦え模試と偏差値比較
- “ 今の実力が分かる ” 志望校判定
- “ 今後の課題がわかる ” 結果をもとに進路相談(生徒も親も)

夏期講座最終日は、対外模試を実施いたします。夏の成果を試す絶好の機会です。7月11日実施の戦え模試との偏差値比較表を配布しますので、成績が上がった実感がよりリアルに見えて今後のやる気につながります。例年90%以上の生徒が5教科で成績が上がります。

対外模試なので、長崎県内で志望校内の順位や現在の判定も出ます。今の自分の実力を正確に把握して、今後につなげることができます。



テスト結果では詳しい分析が出ます。自分の得意な部分、これからの課題などが浮き彫りになります。9月に成績票がもどってきます。生徒一人一人と面談しながら、今後の勉強の方針をアドバイスしながら返却します。同時に進路相談も実施いたします。お子様の進路を保護者様と一緒に考えます。



先輩に聞け！



高校入試完全サポート企画

- 社会に出た卒業生の歩んだ道と今を聞いて、進路を明確にする

すでに社会に出ている卒業生に声をかけ、どのような進路をたどり今に至るかを5分～10分程度、授業の中休みを使って話してもらいます。身近な先輩たちがどのような高校からどのような仕事についたかを聞けるので自分の進路がよりリアルに想像でき、進路が明確になります。

中学3年生の保護者様と生徒諸君に

夏期講座の目的と効果

夏期講座の成果は、8月末に当会で実施される志望校判定付き対外模試と中学校の実力テストで試されます。鬼のように基礎学力を磨いた当会の生徒たちの成績を必ず上げたい。身に付いた基礎学力を定着させて入試につなげたい。その目的のために実施されるのが夏期講座です。

学進会の中3の夏期講座は、鬼6と称した基礎演習があります。さまざまなテストがあり、合格できないと子供たちは帰宅できません。みんな早く帰るために休み時間も理・社の一問一答や英単語の暗記に励みます。本当によく頑張ります。ですが、これで終わってしまうと短期記憶(短時間で覚えて、短い時間だけ覚えておく)になります。短期記憶はお察しの通り忘れるのも早いのです。ですから、夏期講座中に習得したことでさえ、序盤にやった内容は夏期講座の終盤には忘れていくことも多いのです。しかし、人間は忘れそうなそのタイミングでもう一度覚えなおすと、今度は記憶の継続が長く保たれます。であれば、そう。その機会を設けてあげればいいのです。そのための一日暗記チャレンジです。目的はせっかく覚えた短期記憶を、中長期記憶に昇華させることなのです。

記憶は楽しいときの記憶が長く続きます。しかも、楽しいと感じるときつい勉強も集中できます。友達と集まって勉強するだけでなんだかワクワクしますし、今から受験を頑張る仲間と食事を共にすることも、これからの励みになります。さらに、楽しく頑張ったら報酬がもらえるという体験も準備します。頑張ったらよいことがあると疑似暗示にかかれば受験は勝ったも当然です。どんなに努力しても受験の前には不安になります。しかし、頑張ったらよいことが起こる、しかも勉強で頑張ったらよいことが起こる体験をしておけば、大丈夫！やったら必ずいいことが起こる、合格する！と心に余裕ができます。その安心感があればさらに努力を続けられます。

その頑張ったら報酬がもらえる疑似体験に利用するのがG(ガバス)です。当日子供たちは一切お金を持ってきてはいけません。昼食や夕食、途中で補給する水分の為のお茶やジュース、さらに休み時間に友達と一緒にしゃべりながら食べるためのお菓子、そのすべてを学習による報酬のガバスで購入してもらいます。毎年子供たちはガバス欲しさに乗せられて本当によく頑張ります。つまらない単語テストの連続や、計算テストマラソンも一喜一憂しながら乗り切ります。そんな仕掛けの中で夏に一度覚えたことをもう一度覚えなおします。その記憶は長く維持されます。その知識と、夏に鍛えたもう一つの武器である問題を解く力を使って、翌週の学校の実力テスト、講座最後の対外模試にのぞみます。定着した知識がふんだんに出題され、頑張ったら覚えたらテストにでる、解けた、わかった、高得点につながったという成功体験を得ることができます。

勉強が得意な生徒は、5時間頑張ったそのあとに演習がありますから、進学校に入った時に学校が終わった後に過程で自学をする、長時間の勉強の訓練になります。基礎事項のこのみを申し上げましたが、授業では難しい応用問題の解説もバンバンやります。いままで解けなかった問題が解けるようになっていきます。

そしてついに、勉強は頑張ったら必ず応えてくれると思えるようになるのです。そう思ってくれたらこの後の2学期に続く受験勉強はいくらでも真剣に取り組めます。頑張ったら必ずいいことが起こると思えているのですから。

この、勉強は頑張ったら必ず応えてくれると思えるようになるのが、夏期講座がもたらす最大の効果です。

そしてその経験が、何かを子供たちが将来、目標を掲げ、成し遂げたいと思った時の成功体験として人生を少しでも豊かなものにしてくれたら、私たちはとても幸せです。

もちろん、中3だけでなくすべての塾生によりよい経験と学力の向上をもたらす最高の夏期講座にいたします。どうぞよろしくお願いいたします。

(株) M&M 代表取締役社長 野澤 広海